

<b>10002 キリスト教概論Ⅱc</b> Introduction to Christianity II		3年次～ 前期 2単位	
担当者	佐々木 徹	履修可能学科	E必 Pe必 Pc必 C必 W F N
		関連資格	保育 (Pc)
サブタイトル	カール・バルトの神学		
授業内容 ・ ねらい	<p>20世紀という時代は二つの世界大戦が起こった激動の時代であり、キリスト教もその自己理解や将来への展望が問われることになった時代であると言えます。講義では、このような20世紀を振り返りつつ、カール・バルトの神学を中心にして、ヨーロッパなどにおけるキリスト教思想の流れをたどります。カール・バルトは未完の大著『教会教義学』、反ナチズム闘争などで知られる、現代の重要なプロテスタント神学者です。バルトの神学と実践は、現代のキリスト教の良心を代表するものの一つであると言えます。キリスト教と社会主義の共闘、ナチズムに対する抵抗と闘争についても考察し、キリスト教の根源を尋ねて、人間はいかに生きるべきかを考えます。</p>		
授業計画	<p>以下の項目順に講義します。( )内は、割り当てられる授業回数の予定を示します。</p> <p>A. はじめに (1回)                  B. 神学者カール・バルトの誕生 (1回)                  C. カール・バルトと弁証法神学 (2回)                  D. バルト神学の展開 (2回)                  E. 論争におけるバルト神学                      1. F・ゴーガルテンとの対決 (1回)                      2. E・ブルンナーとの自然神学論争 (1回)                      3. プルトマン神学との相違 (1回)                  F. バルト神学と平和の問題 (2回)                  G. カール・バルトとカトリックの神学者達 (1回)                  H. バルト神学に対する批判とその問題点 (2回)                  I. 20世紀のキリスト教世界の動向と日本 (1回)</p>		
教科書 参考書	<p>参) 『聖書』(新共同訳が望ましい。) その他の参考書については、講義時に述べます。                  随時プリントを配ります。</p>		
評価方法	<p>試験もしくはレポート 出席も重視</p>		
事前準備学習 履修条件等	<p>マナーを守って、誠実に取り組むこと。</p>		